



# わかば

2019. 7. 13

(令和元年)

第19-13号

文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

**教育目標** 「帰国後、日本の教育に円滑に適應できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

**重点目標** **一人一人が輝く教育** ～期待登校・満足下校～(2年次)

## 今年も子どもたちはよく頑張りました。・・・大接戦だった運動会

最後の最後まで大接戦の運動会でした。得点差はわずかに3点の707対710ですので、どちらが勝っても負けてもおかしくない白熱の運動会だったとも言えます。

「熱中、集中、夢中」のキーワードを持って、子どもたちはよく頑張ってくれました。保護者の皆様の万全の諸準備と中高生のきびきびとした係の仕事のおかげで、運動会も円滑に予定通りの時間内で終わることが出来ました。ありがとうございました。

また、紅組、白組の応援団のリーダーシップにより昨年度以上に、それぞれの組の団結力が応援する姿や競技の姿に反映していたと感じた今年の運動会でした。

来賓挨拶や応援合戦審査、幼稚部の踊りにもご参加いただいた総領事 寺岡敬様をはじめとする多くのご来賓の皆様にご心より感謝申し上げます。



開会の言葉	小6 高山 芹奈 さん
来賓挨拶	総領事 寺岡 敬 様
選手宣誓	小1 税所 侑大 さん
	小1 杉上 けいら さん
閉会の言葉	中3 加藤 大雅 さん
準備、整理体操	高等部生徒一同
エール交換等	赤組、白組の応援団

### 心に残ったことをいくつか紹介します。

<b>質の高い応援団の演技</b>	昨年度から演技時間を5分以内としています。それだけに企画力や構成力、表現力等が求められます。そのことを踏まえた躍動感、スピード感にあふれ、団員の特技などをフルに生かした応援になってきています。両団とも素晴らしかったですね。
<b>組を意識した応援の姿</b>	運動会は、楽しい行事であり、集団行動や集団の一員としての言動を学習する場、機会でもあります。所属する喜びや一緒になって応援する姿を大きな声援やタスキ文字などで見ることが出来たことは、嬉しい限りです。
<b>みんなで作る運動会</b>	運動会担当の保護者の皆様方の諸準備、係活動の中高生の活躍、そして、参観保護者等のご協力が素晴らしかったと思います。特に、アナウンスにしたがって快くご協力をいただき、立ったままの撮影が少ない「みんなで作る運動会」となりました。



# 児童生徒の作品紹介 VIII



今回は、1年生の「えにっき」、6年生の「本と私」からの作文をご紹介します。

校長 信國 寿敏



ま	ゆ	た	う	と	お	なまえ 6がつ 22にち じようび おおさこ ゆう	
し	だ	し	を	う	と		わ
た	け	い	し	で	も		た
	か	か	ま	す	だ		し
	ち	か	し	も	ち		は

1ねん おおさこ ゆう

	で	の	ま	ほ	る	なまえ 6がつ 22にち じようび はせがわ みお	
	す	し	し	ん	や		ぼ
		か	た	を	す		く
				よ	み		は
		た	た	み	に		び

1ねん はせがわ みお

す	し	と	を	お	と	なまえ 6がつ 22にち じようび ひろた まこ	
	か	て	し	に	も		わ
	か	も	ま	ご	だ		た
	た	た	し	か	ち		し
	で	の	た	こ	と		は

1ねん ひろた まこ

	た	た	み	に	ひ	なまえ 6がつ 22にち じようび うえる ずりゆう	
	で	の	ま	ほ	る		ぼ
	す	し	し	ん	や		く
		か	た	を	す		は
				よ	み		

1ねん うえるず りゆう



カフェテリアのテーブルが変わったことが分かる細やかな観察力のある絵、逃げ惑うような動きを感じる鬼ごっこの絵などがあり、とっても楽しい「えにつき」ですね。

多くの友達との遊びや楽しみなお弁当のことが書かれた「えにつき」は、読んでいてとっても心が和みます。

昨年度も書きましたが、たどたどしい文字も今のうちです。日毎に形も大きさも整った字を書くようになってきます。保護者としては、成長の記録として残しておきたい1枚の「えにつき」となる事でしょう。将来もう一度見る機会があるとして、親からのコメントを添えておくとういと思えます。お子様にとっても、自分自身の成長を振り返る一枚ともなります。懐かしむことでしょうかね。

1ねん かたやま ともき

えにつき



た	お	べ	ん	ア	カ	／
で	い	ま	し	で	フ	ぼ
す	し	し	う	、	エ	く
。	か	た	な	お	テ	は
	っ	。	た	べ	リ	、

6がつ22にちんしょうび  
 なまえかたやまとともき

6年生「本と私」から 私の一冊 「悪魔の足」

高山 芹奈

私は、ミステリー小説が大好きだ。その中でも一番心に残っている本は、コナン・ドイル作の名探偵ホームズシリーズ、「悪魔の足」だ。これまでにたくさんのシリーズを読んできたが、この本は私の一番のお気に入りだ。

友人ワトソンとともに休暇を過ごしていたシャーロック・ホームズのもとに、兄弟の様子が突然おかしくなり、妹が変死をとげたと言うおそろしい事件が持ち込まれる話だ。「悪魔のしわざだ」と騒いでいると、また同じような殺人事件が起こる。最後にホームズが「悪魔の足の根」という薬剤を使って殺人をおかしたと推理し、犯人も分かった。

私が一番心に残った場面は、ホームズとワトソンが悪魔の足の根を試した命がけの実験をしたところだ。まるで私とその光景を見ていたようで、はらはらし、読む手がとめられなかった。

この本を読むと、ホームズやその仲間たちがロンドンへ連れて行ってくれる。探偵にあこがれている私にとって、「悪魔の足」は自分を別世界へ運んでくれる、お気に入りの本だ。



私の一冊 「あのころ」

山田 いなせ



私の心の中に残っている本は、さくらももこさんの「あのころ」です。いけないことがあった時、悲しい時、この本を思い出したら少し気持ちがはれる気がします。

「あのころ」は、さくらももこさんが小学生のころのお話です。ももこさんが、「まる子」だった時のお話がいっぱいあります。

この本で、私の心に残ったのが、「きょうだいゲンカの話」の場面です。なぜなら、私も弟がいて、よくけんかをするからです。この場面にもももこさんの日常げんかが書かれていて、けんかの理由や、けんかの内容ですごく共感しました。私と弟は小さいことですがけんかします。こんなことでけんかするのは私たちだけだと思っていました。けれど、この場面を読んで、「私たちだけではないんだ」と、思い、ちょっと安心しました。

笑いたい時、ちょっとでも笑顔になりたい時、この本を読むと気持ちがはれるので、この本は私の心の中にいつまでも、残っているのです。



探偵本の王道と言えるシャーロック・ホームズの世界に魅了された様子がよく伝わってきます。時間を惜しまずに読みふけたのでしょね。また、実生活から感じていたことを本と照らしあわせて、納得していく様子もよく伝わりました。兄弟げんかの多くは、ささいな事が原因ですよね。

今回は、6年生二人の作品を紹介しましたが、次号では、もう二人の作品と、中学2年生の「枕草子」を学んでの「自分の草子」をご紹介できればと考えています。

## 6年生、社会科見学に行ってきました。・・・ヤマサ醤油様、サンクゼール様(6月25日)

社会科見学は、まさに、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚を使った「五感を使った学習」です。久保信人教育委員長から訪問先2社の概略説明の後、出発しました。

ヤマサ醤油様近くの交差点に来ると、私たち日本人の食文化の根底にある醤油の香りがうっすらと漂ってきて、味覚を揺さぶられるようでした。アイスクリームに醤油をかけた試食は、誰もが「どうかな？」のドキドキものでしたがおかわりをしたいくらいの美味しさでした。【写真 上】

午後のサンクゼール様では、オレゴンの新鮮な野菜や果物をふんだんに使ったスムージーなどの多くの製品の生産、販売や景色のよい丘陵地を生かした場所でのレストラン運営など、1次産業、2次産業、3次産業を一体化した「6次産業」を展開されていました。【下 飲む酢の試飲】

ヤマサ醤油様、サンクゼール様、子どもたちの見学に快くご協力いただき、誠にありがとうございました。



### 【社会見学レポートから】

○ぼくは、初めてしょうゆ工場へ行き、とてもおもしろかったです。びっくりするほどおいしかったのは、さとうの入ったしょうゆをアイスクリームにかけた事です。生まれて初めての食べ方でした。本当においしかったです！。

6年 大西 海

○工場見学では、飲む酢という商品ラベルがはられているところを見学しました。すごい速さで機械が回っていておもしろかったです。品質管理をしている部屋にも行きました。そこには、大きな冷蔵庫のような機械があり、その中で小さな生き物を調べていると聞きました。

6年 太田 野乃

## 校長授業参観・・・4-2 サムラー 久美子学級

### 国語科学習 「自分の考えを伝えるには」

この学習では、話題を確かめて、自分の考えを決め、理由やそれに関係する事例を書き出すことにあります。

文の組み立てが異なる意見文を聞いて、どれが分かり易いかを考えた後、自分の立場を(山に行きたいか、海に行きたいか)決め、立場の理由を付箋紙に書き模造紙に貼る活動がありました。

写真の様に、先生はそれぞれの理由を KJ 法[※類似の集約化、統合化]で分類する過程の中で、子どもたちが共感したり、考え方の視点を広げたり、考えが定まらない子の参考にさせたりする場を設けていました。 【上】

そして、同じ立場のグループで事例を交流しあいながら、事例を3つ以上書くことが出来るように仕組みでありました。実に質の高い授業展開だと思いました。 【下】

